



「録画も生中継も!」「スマホでパソコンで!」
議会のように映像で見られます。

燕市議会 議会中継 で検索してください。

暮らしに身近な 「議案のココ」

議案に注目! 「にズームイン」



※ここに掲載していない議案も含め、各議案等の議決結果は、9ページに掲載しています

Pick Up ▶ 1

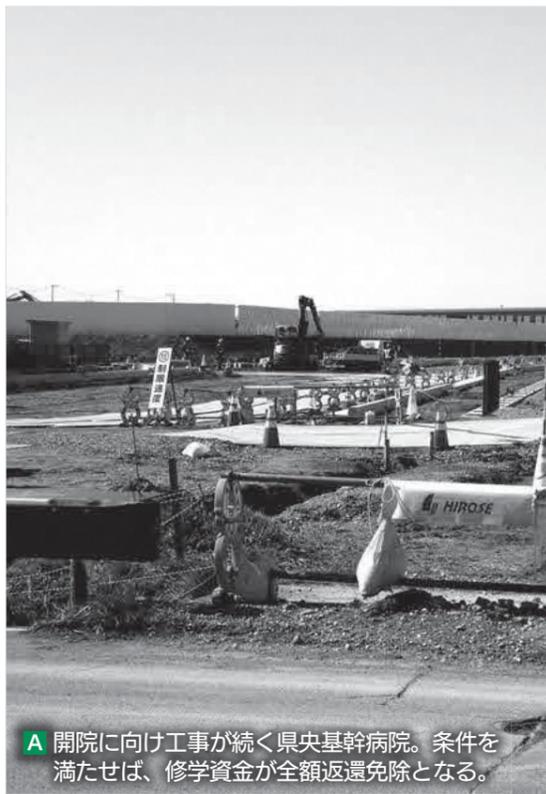
看護職員修学資金貸与条例の制定 (月額最高5万円)
県央医療圏での看護職員の確保と人材の地元定着を図る
看護職員数が少ない現実を踏まえて

問 看護師免許を取得できなかつた場合の修学資金の返済はどうなるか。

答 この制度は、看護師免許を取得し、指定の病院に5年間継続して勤務すれば、返還が免除となる制度。修学資金を希望する人には、制度の内容につ

いて、あらかじめ説明し、内容を理解した上で看護師免許取得に向け取り組んでほしい。(写真A) 産

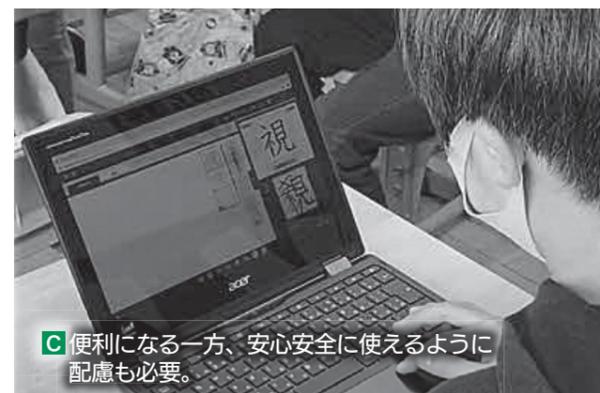
人口10万人当たりの看護職員数
新潟県 1245.7人
県央 1003.3人
7医療圏 最下位
(平成30年12月末時点)



A 開院に向け工事が続く県央基幹病院。条件を満たせば、修学資金が全額返還免除となる。



B 感染リスクを減らしつつ、事業内容を少しでも分かりやすく伝えたいという思いから、説明動画を作成。



C 便利になる一方、安心安全に使えるように配慮も必要。

Pick Up ▶ 2

燕市営特定公共賃貸住宅条例の一部改正
空き部屋を有効活用、必要な人が使えるように
市営住宅に準ずる住宅へ一部変更

問 空き部屋が増えている理由と、改正による入居者資格の変更点は。

答 ワンルームであること、この住宅が市営住宅と条件が異なること、過去にこの住宅を利用して

いた企業の需要が現在無いことが空き部屋の増加に影響している。今回、市営住宅に準ずる公営住宅に転用する改正を行うことで、「単身」という入居条件がなくなる。産

Pick Up ▶ 3

令和2年度一般会計補正予算(第16号)
①おいしい燕おとどけプロジェクト事業
コロナ禍を乗り越えるために
常に事業を見直す姿勢を

問 事業の進捗状況による、年度途中での柔軟な施策の変更は。

答 フェニックス11からスタートし、飲食店を中心とした支援制度だったが、事業を進めつつ、柔軟に見直しを図ってきた。至らない点は、できるだけ見直し、新たな制度を加えて支援している。(写真B) 産

②公共交通運行事業
高速・路線バス事業者へ支援金
市民の大切な「足」を守る

問 県内高速バス運行事業者への支援金と市の負担割合は。

答 新型コロナウイルスの影響を受けている高速バス9路線の、県と関係13市町村とでの支援金は8600万円。うち市負担分6路線の金額は、各バス停の利用者数や受益距離に応じた按分で算出される。総

③ICT教育推進事業
児童生徒が安心して使えるように
端末のセキュリティ強化

問 セキュリティ用フィルタリング機能の導入の詳細は。

答 購入したタブレット端末には、元々フィルタリングソフトが入っていない。5年間のライセンス料として、1年当たり1台39600円で、合計6230台分の経費を計上した。(写真C) 総

④学校管理費
誰にでも起こりうる
保護者負担の軽減を図る

問 修学旅行のキャンセル料相当額の補助とは。

答 修学旅行直前に感染者が出る可能性が大きい。その状況では50%のキャンセル料が発生するため、どの学校でも起こりうる想定し、万が一に備え、予算計上した。全

全 全議員協議会
議 議員協議会
総 総務文教常任委員会
市 市民厚生常任委員会
産 産業建設常任委員会